

平成24年度重点テーマ連続シンポジウム

リアルな地域のあり方を住まいとの関係で描く(1)  
生活空間としての地域に関わるヴィジョンを語る

2012年 **7月13日** (金) 13:30~17:00

建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

一般1000円 学生500円

参加費はすべて東日本大震災復興義援金として被災地にお送りいたします。

趣旨説明・総論

**松村秀一** (東京大学大学院 教授)

講演

**清水義次** (株式会社アフタヌーンソサエティ 代表取締役)  
エリアマネジメント=家守の時代が来ている

**山本理顕** (株式会社山本理顕設計工場)  
「一住宅=一家族」から「地域社会圏へ」

**岡部明子** (千葉大学大学院 准教授)  
地域の小さく回る経済の可能性

**藤澤好一** (一般社団法人工務店サポートセンター センター長)  
地域の生産者の将来像

パネルディスカッション  
暮らしの<場>としての地域のリ・デザイン

## プロフィール

### 松村秀一

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授

1985年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了、工学博士。1986年東京大学工学部建築学科専任講師、1990年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教授、2006年同教授。その間、ローマ大学、トレント大学、南京大学、大連理工学大学、モントリオール大学等で客員教授を歴任。日本学術会議連携会員。2005年建築学会賞(論文)、2008年都市住宅学会賞(著作)を受賞。著書に『建築生産【第二版】』2010年、『住まいのりすとら』2010年、『建築再生の進め方—ストック時代の建築学入門』2007年、『住に纏わる建築の夢—ダイマキシオン居住機械からガッツ構法まで』2006年、『建築とモノ世界をつなぐ』2005年、『建築生産』2004年、『団地再生—甦る欧米の集合住宅』2001年、他多数。

### 清水義次

株式会社 アフタヌーンソサエティ 代表取締役

東京大学工学部都市工学科卒業後、コンサルタント会社を経て1992年(株)アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュース、家守(やもり)事業プロデュースを行っている。主な建築プロジェクトは青山パラスイオ(表参道)、ホテルソフィテル東京(池之端)、メルキュールホテル銀座、FXビル(名古屋市中津通り)他。地域再生プロジェクトは、熊本県旧泉村、福島県三島町、兵庫県洲本市などを手がける。現在は、東洋大学大学院公民連携専攻客員教授を兼任。(当財団調べ)

### 岡部明子

千葉大学大学院工学研究科・工学部准教授

1985年東京大学工学部建築学科を卒業後、スペイン給費留学、磯崎アトリエ(バルセロナ)勤務を経て、1990年堀正人とHori & Okabe, architectsを設立。2003年東京大学大学院新領域創世科学研究科環境学専攻助手、2004年より現職。2005年東京大学にて博士(環境学)『1990年代EUサステナブルシティの政策展開』。主な著書に、『バルセロナ』(中公新書、2010年)、『サステナブルシティ—EUの地域・環境戦略』(学芸出版社、2003年)、『持続可能な都市』(共著、岩波書店、2005年)他多数。専門は、都市政策・空間計画。

### 山本理顕

株式会社 山本理顕設計工場

1971年東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。1973年山本理顕設計工場設立。2007~2011年横浜国立大学大学院教授。2011~横浜国立大学客員教授、日本大学特任教授。代表作に埼玉県立大学(日本芸術院賞)、公立ほこだて未来大学(日本建築学会賞作品賞)、東雲キャナルコートCODAN(グッドデザイン賞金賞)、横須賀美術館(神奈川建築賞)など。チューリッヒ、天津、北京、ソウル、アムステルダムなどでも複合施設、公共建築、集合住宅を手掛ける。主な著書に『新編住居論』(平凡社ライブラリ)、『RIKEN YAMAMOTO 山本理顕の建築』(TOTO出版)、『地域社会圏主義』(INAX出版)など。

### 藤澤好一

一般社団法人 工務店サポートセンターセンター長

工学博士。芝浦工業大学建築学科卒業。建設会社勤務ののち、芝浦工業大学助手、講師、助教授、教授を経て名誉教授、現在に至る。職業能力開発短期大学校「東京建築カレッジ」学校長、NPO法人シーデクセマ評議会理事長などを歴任。主な著書に「木造住宅・工事管理の実務」(彰国社、監修・共著)、「木造建築士・資格研修テキスト」(井上書院、監修・共著)、「いい工務店との家づくり」(雲母書房、共著)、「組み上げる」(井上書院、共著)、「池袋北職人大学」(彰国社・共著)、「木造建築の木取りと墨付け」(井上書院、監修)など。

■参加費 一般 1000円、学生 500円  
シンポジウム当日に受付にてお支払いください。

参加費はすべて東日本大震災復興義援金として被災地にお送りします。

#### ■申込方法

下記にご記入いただき、FAXでお申し込みください。なお、住総研HPからもお申し込みいただけます。

■申込締切 7月10日(火) 定員150名(先着順)

#### ■お問い合わせ

一般財団法人住総研 e-mail [sympo@jusoken.or.jp](mailto:sympo@jusoken.or.jp)

156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8 Tel:03-3484-5381 Fax:03-3484-5794

<http://www.jusoken.or.jp/sympo.htm>

このシンポジウムは継続職能研修(建築士会CPD)認定プログラム(3単位)です

■会場：建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)



JR 山手線  
三田口徒歩4分  
都営地下鉄三田駅  
A3出口徒歩3分

今年度住総研では「リアルな地域のあり方を住まいとの関係で描く」を重点テーマとし、様々な活動を行っています。研究助成のほか、年3回のシンポジウム開催に加え、当財団図書室でも関連資料を揃えております。当財団ホームページにて関連資料を掲載しておりますのでご覧ください

参加申込み  
締切 7月10日

お名前 (ふりがな)

ご所属 (  一般  学生 )

連絡先 (  ご所属  ご自宅 )  
( 〒 - )

e-mail アドレス

Tel

Fax

住総研 FAX 03-3484-5794